

1・2年「冬がやってきた！」

	書名	著者名	出版社	内容
1	ぼくのたいせつなぼうし	ヒド・ファン・ヘネヒテン 作・絵 のぞかえつこ 訳	フレーベル館	たびの途中で ぼうしをなくしてしまったクル。スノーぼうしは、大切なじぶんのぼうしをかしてあげた。ところが、クルはぼうしをなかなかかえしてくれない。アルフレッドにそうだとすると・・・
2	つらら	細島雅代 写真 伊地知英信 文	ポプラ社	つらはら どうしてできるのかな？どうして長くなるのかな？冬になると、身の回りや自然の中で見かける、つららのすばらしさを、しゃしんでしょうかい。
3	なまはげ	小賀野実	ポプラ社	毎年、大みそかの夜になると、なまはげが山からすがたをあらわす。おそろしいおたけびをあげながら、村人の家をたずねる。なまはげって、いったいなになのか？
4	ストーブのふゆやすみ	村上しいこ 作 長谷川義史 絵	PHP研究所	待ちに待ったスキーりょこう。戸じまりてんけんをすると、なんと、ストーブがこたつの中で、まるくなっていた。ストーブも冬休みがほしいという。いっしょに、りょこうに行くことになった。
5	3びきのゆきぐま	ジャン・ブレット 作 松井るり子 訳	ほるぷ出版	犬ぞりをなくしてしまったアルキーは大きなイグルーにたどりついた。中に入ってみると、おいしそうなおいがしてきた。そのころ、3びきのゆきぐまは、スープをさますため さんぽをしていた。